



# 消防119

もしもの火災に備えて!!

消防団第2・3・5分団

合同機動演習を行いました

消防団による機動演習が10月23日、萩原地内で行われました。

この演習は火災現場での状況判断の的確性や即断性の向上、機械器具の迅速かつ安全な取り扱いなどについて訓練するものです。

当日は、大垣消防組合北部消防署も訓練に参加し、実戦ながらに行われました。

このほかにも、地元住民や女性防火クラブによる消火栓や消火器を使用した初期消火訓練、煙道体験が行われました。



▲区民による煙道体験



▲消火器を使った初期消火訓練



▲消防団・女性防火クラブ・北部消防署による消火訓練



## 大垣消防組合管内の火災情報などが聞ける

救急GO!それ1、2

消防情報テレホンサービス ☎0180・995・012

## 年齢に応じた地震への備え

近年日本各地で大きな地震があらこちらでおきています。

地震が発生してから食料などの物資が届き出すのは災害発生から3日目以降といわれています。

目安として最低3日間程度の水や食料品を備蓄しましょう。

備蓄品は、家族構成、居住地域の特性によって必要となるものは異なります。

高齢者の場合、入れ歯で硬い物がかめない、非常食の乾パン、ビスケットなどは食べ物が飲みみにくいことがあり、おかゆやスープを準備しておく、乾パンをスープに浸しておくことで、柔らかくなり栄養と水分補給になります。

乳児のいる家庭では粉ミルクや水分を多めに備蓄しましょう。

備蓄品は、賞味期限を定期的にチェックし、必要に応じて入れ換えましょう。

持病薬は説明書や処方記録したお薬手帳と一緒に持ち出しましょう。初めて診る医師でも持病にあった薬を処方することができ、病状を推定できるためです。

非常持出品は、玄関、寝室、物置、車のトランクなど持ち出しやすいところに置いておき、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。背負える袋などに入れておけば、避難時に両手が使えて便利です。

もう一度年末に地震に備えた準備の再確認をはいかがでしょうか。大地震が発生する前に!!

### 池田町火災・救急件数

平成28年10月31日現在

区分	28年分		27年分	
	10月分	累計	10月分	累計
火災件数	1件	6件	0件	2件
救急件数	出動件数	67件	69件	722件
	搬送人数	63人	654人	72人